

布引ダムが国の重要文化財に

◆近代化遺産では市内初めての重要文化財

国の文化審議会は、この 4 月に布引ダムを中心とする布引水源地水道施設を国重要文化財に指定する答申を行いました。近代化遺産では神戸市内で初めての重要文化財（建造物）指定になります。

布引水源地水道施設は、難しい漢字が並びますが、分水堰堤、分水堰堤附属橋、分水隧道、締切堰堤、放水路隧道、五本松堰堤（布引ダムの正式名称）、谷川橋、雌滝取水堰堤、布引水路橋（砂子橋）などがあります。 ※堰堤…堤防、ダム 隧道…トンネル



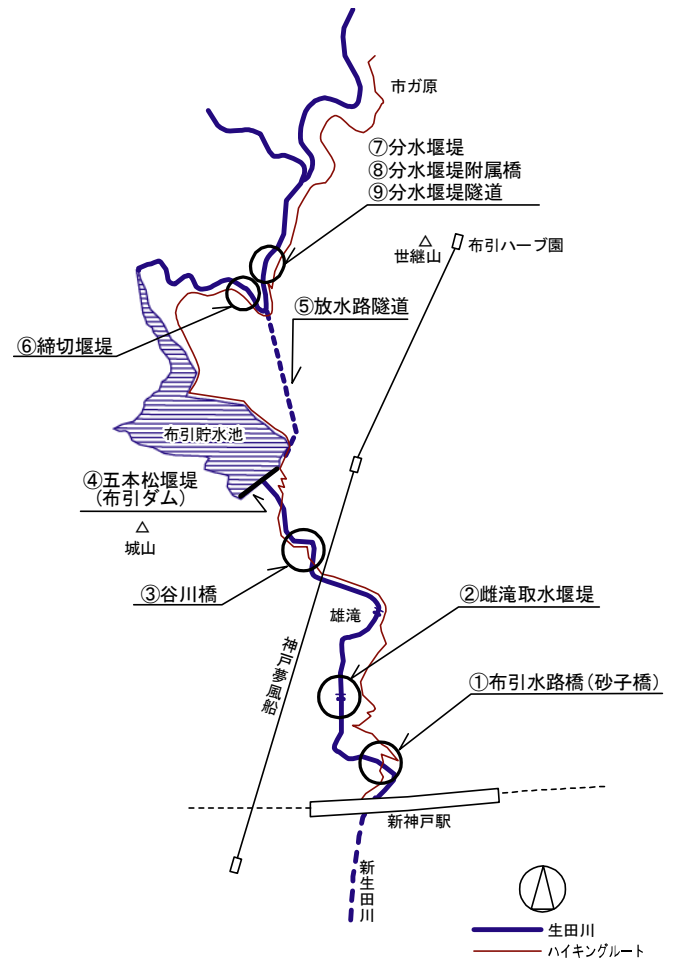
五本松堰堤(布引ダム)

◆神戸の近代水道のあけぼの 神戸水道の歴史

慶応 3 年の神戸港開港と、それに伴う産業の生成や土木事業などの労働力の需要があり、また、明治 10 年の西南戦争で兵站基地にもなった神戸では、その後、著しく人口が増加しました。また、西南戦争後にコレラが持ち込まれ、その後数年毎にコレラ、赤痢等の疫病が流行しました。このため神戸区長が、ついで神戸市長が先頭に立ち、水道敷設への努力がなされ、明治 25 年に布引貯水池を含む水道施設計画が内務省雇英国人技師 W. K. バルトンに委託され、明治 26 年には成案となり、国に提出されました。

しかし、日清戦争のため計画は一時頓挫し、明治 29 年になって認可を得ることができましたが、この時点で、神戸市の人口増加が著しかったこと

などから、計画の実施にあたり水道工学家として知られていた陸軍嘱託技師の吉村長策に工事長を依頼し、吉村は大学の後輩の佐野藤次郎を招き実施体制が整いました。明治 30 年 5 月 28 日に起工式が行われましたが、計画の見直し作業と変更手続きも併行して行われており、明治 31 年に、ダムの構造は高さ 18m の土堰堤から 30m を超えるコンクリート堰堤に変更となり、日本最古の重力式粗石コンクリートダムとして、明治 33 年 3 月に完成しました。



◆布引水源地水道施設の概要

この施設は、中央区葺合町の六甲山地を流れる生田川を利用したもので、市街地から極めて近い場所にあります。新神戸駅から布引の滝を経て、市ガ原に至る途中のハイキングルート上にその各々の施設が点在しています(地図上の数字、下流から①～⑨)。

2 項に続く

①布引水路橋(砂子橋)

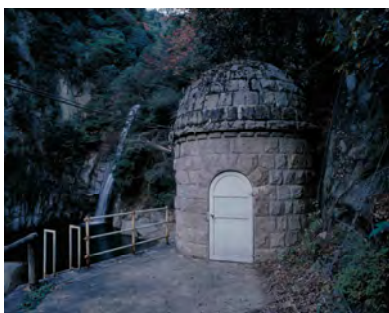
- ・全長 19.2m (別途袖壁 2.6mあり)、幅 3.3mの三径間連続レンガアーチ橋
- ・明治 33 年 3 月完成



②雌滝取水堰堤

- ・堤高 7.7m、堤長 19.3 m、堤頂幅 1.2mのアーチ状練石積堰堤
- ・明治 33 年 3 月完成

(写真は、堰堤右岸側にある直径 3.3mの円筒形石積塔屋に半球を載せた石積みの取水井屋)



(取水井屋)

③谷川橋

- ・橋長 6.1m、幅 2mの鉄筋コンクリートアーチ橋
- ・大正初期に完成
- ・2本のアーチ状鉄筋コンクリートの主桁と横桁の上に、モニエ式(格子状配筋)床版がある構造



④五本松堰堤(布引ダム)

- ・堤高 33.3m、堤長 110.3m、堤頂幅 3.6m、堤体積 22 千 m³
- ・堰堤本体の構造は粗石を 3 割程度混入した粗石コンクリート造 (写真は 1 ページ)

⑤放水路隧道

- ・延長 264.3m、幅 3m、内空高 3mの素堀の山岳トンネル
- ・一部地山の悪い箇所ではコンクリート(厚さ 30cm)で補強
- ・明治 41 年 3 月完成
- ・ゲートの開閉により水量を調整 (写真は取水口)



⑥締切堰堤

- ・堤長 30.5m、堤頂幅 1.5m、堤高 7.6mのアーチ状石積堰堤
- ・明治 41 年完成
- ・分水堰堤隧道を流れてきた渓流水が、上流側に逆流することを防ぐ



⑦分水堰堤

- ・堤高 4.3m、堤長 14 m、堤頂幅 0.9mの切石積みアーチ堰堤
- ・明治 40 年 3 月完成
- ・分水堰堤で堰止めし、右岸側から下流に分水隧道で布引ダムに導水



⑧分水堰堤附属橋

- ・橋長 11.5m、幅 12m、床版配筋がモニエ式の鉄筋コンクリートアーチ橋

⑨分水堰堤隧道

- ・延長 24.9m、幅 1.2m、内空高 1.8mの山岳トンネル(素掘り、上流側 6.6m及び下流側 2.3mは石貼)
- ・明治 30 年代後半完成



その他、布引ダムの管理橋 1 基、建設当時の英国製と日本製取水管 2 点、英国製排泥管 1 点、米国製排泥管バルブ 1 点、コンクリート型枠用矢板 2 枚と、現存する設計関係図面 88 枚のうち 8 枚が、^{つげたり}附(付属物)として指定を受けています。

布引ダムは、建設当時、日本最大の重力式コンクリートダムであり、高度なダム建設技術を導入した貴重な社会基盤施設です。

また、設計・建設に携った吉村長策や佐野藤次郎が、後に日本及び韓国など各地の都市水道建設やダム建設に関わったことから、布引水源地下水道施設は、水道技術及びダム建設技術の伝播と発展の礎となった土木構造物群であると言えます。

なお、布引ダムは、阪神・淡路大震災の後、漏水防止や耐震補強を目的とした工事が行われましたが、他の水道施設とともに構造物の保存状況は良好です。

◆災害に強い水道づくり

水道局では、現在、阪神・淡路大震災の教訓をふまえ、市街地を通る耐震性の高い送水幹線である大容量送水管(第 1 期…芦屋市境～奥平野浄水場間、約 13.7km)の整備を進めています。これにより、通常時の送水能力を強化するだけでなく、既設送水トンネルが被災した場合の代替送水ルートとして、また、送水停止時には、貯留機能を利用した応急給水の拠点などの役割を果たすことができるようになります。

(資料提供：水道局庶務課、教育委員会事務局文化財課)

花とみどりのまちづくりに取り組んでいます！

第1回“みどりのまちづくり景観賞”を神戸市内の3団体が受賞

5月16日、(社)ランドスケープコンサルタンツ協会関西支部が主催する、第1回“みどりのまちづくり景観賞”の発表がありました。この賞は、市民の手による身近な緑化で、まちなみ景観づくりに寄与しているステキな取り組みを、みどりのまちづくりの専門家組織が顕彰し、緑のまちづくりの輪を広げることをめざしています。

今回、阪神間を対象に募集が実施され、応募18点のうち、神戸市内で活動されている3団体が入賞されましたのでご紹介します。どの団体の取り組みも、まちなみにうるおいを与えてくれる、すてきな緑化です。

お近くの方はぜひ足を運んでみて下さい。

<奨励賞>

緑のゆび class 『つつじが丘バス通り』 (垂水区)



地域住民が主体的に街路樹植樹を利用して、200m以上にわたってラベンダーを植え込み、ラベンダーの連続植栽をかたちづけている地区。

行政と協働で植樹を完成させ、視線誘導効果をもたせる連続したラベンダーの景観をつくりあげた点、さらにはていねいな手づくりの管理が高く評価された。

<努力賞>

青木南地区まちづくり協議会

『青木南地区「なぎさガーデン」』 (東灘区)



臨海部の幹線道路沿いの空地に、150mにわたって主体的に花壇や休憩所を設け、ともすれば無味乾燥な景観になりがちな臨海幹線道路沿いに、彩り豊かな空間をつくりあげた地区。

花壇だけでなく、パーゴラやベンチなどの休憩施設までも含めて多様な施設を住民が主体的につくりあげ、継続的な管理など努力している点が高く評価された。

<貢献賞>

六甲道南公園管理会 花クラブ 『六甲道南公園』(灘区)



新設された六甲道南公園の外周に設置された花壇を、地域住民からなる公園管理会や花クラブなどが主体的に植栽・管理し、超高層マンションに囲まれた地区内に花の連続景観をつくりあげた地区。

震災復興事業による街の景観の中に住民が主体的に花とみどりによるホッと空間をていねいに作りあげ、管理している点が高く評価された。

※なお、大賞は17th ST. (セブティーンズ・ストリート) 『17橋通』(尼崎市)が受賞されました。

<問い合わせ先>

(社)ランドスケープコンサルタンツ協会関西支部
TEL(06)6910-8592 FAX(06)-6910-8594
E-mail: clerk@cla-kansai.jp
http://www.cla-kansai.jp/



●神戸市の緑化活動等への支援制度

名称	支援内容	問合せ先
まちの美緑花ボランティア	・助成金	建設局 各建設事務所 〔東部854-2191〕 中部511-0515 北 981-5191 西部742-2424 垂水707-0234 西 912-3750
市民公園	・施設助成 ・管理助成	
市民花壇制度	・管理運営助成金の交付 ・花苗の配布	
緑と花の市民協定	・花苗等の助成 ・連絡助成金の交付	建設局公園 砂防部緑地課 322-5427
美緑花重点スポット美化活動助成	・助成金の交付	環境局 地球環境課 322-5313

※詳しくは、各担当課にお問い合わせ下さい。

●神戸市でもコンクールを開催しています。

<神戸まちなみ緑花コンクール>

- ・今年(第8回)は177点の応募をいただきました。ありがとうございました。
- ・入選者は9月に発表予定です。

花や緑を育てる喜びや美しく飾る楽しさを共有し、花と緑あふれる心豊かなまちづくりを市民のみなさんと共に進めていくことを目的に平成11年にスタートしました。我が家自慢、ご近所自慢、アイデア自慢、大歓迎です！
毎年100点を超える応募をいただいています。

(主催) 神戸市・(財)神戸市公園緑化協会
(応募対象) ・住宅緑化部門(個人)
・まちなみ緑化部門(団体)
(問い合わせ先) (財)神戸市公園緑化協会
花と緑のまち推進センター
TEL: 351-6756

まちづくりセンターからのお知らせ

ホール・貸会議室等のご案内

-会議室・ホールが3ヶ月前から申し込み可能に-

こうべまちづくり会館では、講演会・研究会・映画会などに利用できる**ホール**、絵画・書・写真などの作品展示に適した**ギャラリー**、大・小2つの**会議室**を地元の方をはじめ皆様に安くご利用いただいています。

今春から、**会議室・ホール**は使用日の3ヶ月前の月の初日(休館日の場合は翌日)から電話でお申込みいただけるようになり(先着順)、さらに便利な施設になりました(受付は、午前10時から午後6時まで)。

ギャラリーは使用日の1年前の月の初日からの受付で、必ず来館の上お申込みください。なお、月の初日に限り、午前10時から午前10時30分までの受付時間を設け、使用日が重複した場合は抽選になります。

使用料・時間帯等は、下記のとおりです。《詳細はセンターまでお問合せください》

営利目的でのご利用は料金が5倍となります。

施設			使用料 (単位:円)					
室名	定員	面積 (㎡)	午前	午後	夜間	午前・午後	午後・夜間	終日
			10:00~ 12:00	13:00~ 17:00	17:30~ 21:00	10:00~ 17:00	13:00~ 21:00	10:00~ 21:00
ホール	90	104	3,000	5,900	5,200	8,000	10,000	12,000
ギャラリー	-	178	1日につき 12,100 (原則として6日間 72,000)					
会議室 (大及び小)	40	80	2,300	4,500	4,100	6,200	7,700	9,300
会議室(大)	22	43	1,200	2,400	2,200	3,300	4,200	5,000
会議室(小)	18	37	1,100	2,100	1,900	2,900	3,500	4,300

まちづくり会館展示のお知らせ

地階ギャラリーの予定

期 間	内 容 ・ テー マ	主 催 者
7月 6日(木)~11日(火)	一隅會展(書道)	一隅會
7月13日(木)~18日(火)	第8回水彩・パステル 合同展	朝日カルチャー教室
7月20日(木)~25日(火)	井上龍堂 遺作展(書道)	井上 富江
7月27日(木)~8月1日(火)	第26回 三滴会 書道展	三滴会

すまい・まちづくりのご相談は

- すまい・まちづくり人材センター(まちづくり会館3F)
 - ・電話 078-361-4523 ・FAX 078-361-4546
 - ・受付 午前10時~午後5時(水曜日休館)
 - ※土・日・祝日は、事前にご連絡ください。

自治会活動などのご相談は

- コミュニティ相談センター(まちづくり会館4F)
 - ・自治会の運営等の相談(インストラクター派遣など)
 - ・会報等の印刷サービス
 - 電話・FAX 078-361-4565
 - 受付 午前10時~午後6時(水曜日休館)
 - ただし印刷は、5時まで

※先月号の記事で下記の誤りがありました。お詫び申し上げますとともに訂正いたします。

- 1面 下から3行目 濱田勝・同協議会議長→濱田勝彦・同協議会議長
- 1面 図の説明 六甲風の里公園→六甲風の郷公園



(最寄駅)

- 地下鉄海岸線 みなと元町駅西口から1分
- 神戸高速鉄道 花隈駅東口から3分
- 神戸高速鉄道 西元町東口から5分
- JR・阪神 元町駅西口から8分